

しんぶん 大村洋子

ヨーコ・ヨスカ・ストーリー♪

2018年12月13日発行 152号
三浦半島地区委員会 公郷2-21-1
046-851-1123
大村・携帯 090-1107-0498
ブログ [大村洋子](#) →検索



★12月定例議会★本会議・一般質問★

- ① 「子どもの貧困」と就学援助制度
- ② 米海軍の不祥事と米軍と自衛隊の宿舍再編、あわせて日米地位協定
- ③ 「申請主義」の限界を超えて市民本位の窓口対応になることについて
- ④ 「ベンチのあるまちづくり」について

今回の一般質問は上記の項目で市長、教育長に質問しました。



**学用品費、修学旅行費、給食費等
こどもの学びを支援する制度が
就学援助制度です！**

横須賀市では、すべてのご家庭に「就学援助のお手紙」を配布しています。経済的に厳しいなあとお感じの際には学校に気軽に相談しましょう。(大村洋子にもお気軽にお声を！)

一方で、認定基準の変更が提案され、対象者の約9%、650人がはみ出す予定です。そもそも、生活保護基準を就学援助の認定基準に用いることに私は大きな疑問を感じています。今回、私は教育長の貧困観を問いましたが、明確な答弁を得ることができませんでした。3月議会でも引き続き追及してまいります。

憲法第二十六条
すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

②すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育はこれを無償とする。

本来、義務教育は無償なのに・・・
左の憲法第26条をご覧ください。第2項の最後に「義務教育はこれを無償とする」とうたわれています。ですから、教科書は無料で配られます。しかし、習字セットも卒業アルバムもリコーダーも家庭で揃えなければなりません。

しかも、「子どもの貧困」が言われる現在、学びを保障すべき就学援助制度も財源を国庫から自治体負担へと変えられました。おかしな話です。イージス・アショアやオスプレイ購入よりこどもの教育無償化こそ先に行うべきです。



ベンチはまちづくりの“しかけスイッチ”



横須賀中央の歩道にある楽器を持った人のオブジェのベンチ

高齢者・・・散歩や買物のときに腰掛けたい
観光者・・・ゆったりと街の雰囲気味わいたい

「出かけたときに、一休み出来るベンチが欲しい」高齢の方からご要望があり、市長に直接提案しました。

研究から始めてみては？と質問すると「実態把握、他都市の情報収集等、研究を始めたい。」との答弁。

横須賀市は山坂が多く歩道が狭いので、簡単ではないと思います。障害福祉課によれば義足や装具費用の一部支給者は1092人。みんなが街に繰り出せるように、ぜひベンチは必要です。